

1. 件名：京都大学複合原子力科学研究所の排水監視モニタの更新について行政相談

2. 日時：令和2年5月15日（金）16時00分～16時30分

3. 場所：（1）原子力規制庁9階南会議室

（2）京都大学複合原子力科学研究所

※本面談はテレビ会議にて実施

4. 出席者：（1）原子力規制庁 原子力規制部 研究炉等審査部門

戸ヶ崎安全規制調整官、荒川安全審査専門職

（2）京都大学複合科学研究所 担当者4名

5. 要旨

（1）京都大学複合科学研究所から、KUR（国立大学法人京都大学 複合原子力科学研究所 研究用原子炉）及びKUCA（国立大学法人京都大学 複合原子力科学研究所 臨界実験装置）で共用している排水監視設備のうち、排水監視モニタの更新を考えている。現在、放射性廃棄物の排水口における排水中の放射性物質の濃度測定は、バッチ方式により行っており、排水監視モニタは監視設備として備えつけている。今般、排水監視モニタの老朽化による更新にあわせて、放射性物質の濃度測定を分析用放射線測定器により行うこととするために必要な許認可手続きについて質問があった。

（2）上記（1）の説明に対し、原子力規制庁から主に以下の点について回答し、京都大学複合科学研究所から了解した旨の回答があった。

○排水口の放射性物質の濃度測定について、既許認可の記載を確認する必要があること。設工認等の申請の要否については、原子力規制庁において検討の上回答すること。

6. その他

配付資料

- ・排水監視モニタの更新について